

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県立青少年農林文化センター三徳園
施設所在地	岡山市東区竹原505

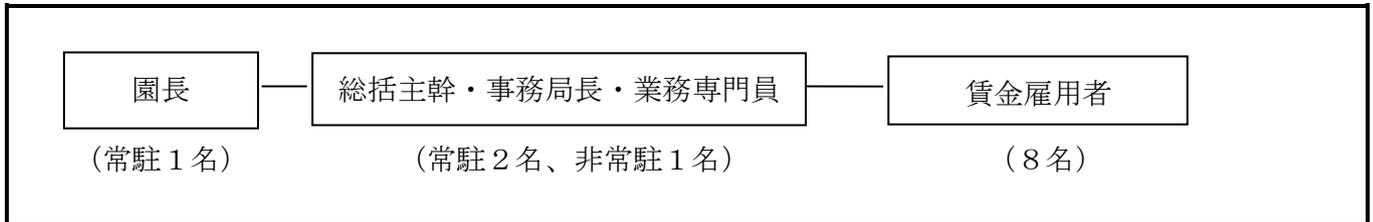
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団	代表者	理事長 森下 慎
所在地	岡山市中区古京町一丁目7番36号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三徳園の施設及び設備の維持管理に関する事。 ・三徳園の施設の利用等の許可に関する事。 ・三徳園の運営に関する事。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修施設		合計
許可件数	5年度	175		175
	4年度	180		180
	増減	△5		△5

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設、設備の維持管理業務の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研修交流館、矢野講堂及び矢野館の維持管理 ・施設、設備、農業機械重機の修繕・保守点検 ・栽培展示園等の管理 ・園内修景管理 ・清掃・ごみ処理 等
施設、設備の利用状況	来園者数：185,850人、研修施設利用者数：4,702人 <ul style="list-style-type: none"> ・ホリデイ就農ゼミ (8回 のべ160人) ・農福連携指導者研修 (9回 のべ72人) ・おためし農福 (3回 のべ64人) 等
自主企画事業の実施状況	計23回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・園児向け体験教室 (63人) ・職場体験学習受入 (中学生3人) ・サポーター園内清掃活動 (12回) ・展示即売会 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		研修施設		合計
収入額		381,740		381,740
利用件数		175		175
減免額		1,026,640		1,026,640
減免理由	<ul style="list-style-type: none"> ・県事業、県補助事業及び委託事業での利用のため。 ・三徳園友の会の三徳園の自主企画(即売会等)への協力及び奉仕活動(草刈等)利用のため。 			

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
収入額 A		33,579,307	337,573	33,241,734	5年度収入額 その他の主なもの ・農福連携研修事業受託料 1,470,000円
内 訳	指定管理料	26,962,000	△238,000	27,200,000	
	利用料金収入	381,740	△57,710	439,450	
	事業収入	4,508,023	663,033	3,844,990	
	その他	1,727,544	△29,750	1,757,294	
支出額 B		33,879,909	△91,470	33,971,379	
内 訳	人件費	21,888,841	122,765	21,766,076	
	管理運営費	11,991,068	△214,235	12,205,303	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		△300,602	429,043	△729,645	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		26,962,000	0	26,962,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が実施されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令等に基づく義務は適切に実施されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルを徹底し安全性の確保に努めていた。開園前の巡回点検等で、危険性を確認された場合は立入禁止や危険箇所表示を行うなど、来園者の安全確保を最優先にした管理が適切に行われていた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続きアルコール消毒液の設置等が実施されていた。
	④財産の適切な管理	B	建物・施設等の適切な保守管理がなされていた。
導入 効果	①利用状況	B	梅雨期の雨や猛暑の影響により利用者が微減したと考えられる。施設の利用は県の研修が中心であるが、安全に活用できるよう配慮されていた。 〔総入園者数〕 R5:185,850人 ← R4:199,430人
	②収支状況	B	研修農場の成園化により、農産物販売額が増加したものの、高品質農産物生産のための栽培管理や出荷調製、販売対応等により人件費が増加したことから、収支はマイナスとなった。
	③サービス向上	B	施設の管理状況について来園者の満足度は高く、展示即売会をはじめ自主企画事業を実施するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般		B	協定書や計画書に基づく適切な管理がなされるとともに、展示即売会や農福連携事業など、自主的な取組がなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D：予定していた業務水準を下回った。